

夢の舞台、
徳島で織りなす
ワーケーション
徳島一周ワーケーション

チーム名：魅惑の徳島エクスプローラー

所属：西日本電信電話株式会社

メンバー：エン京、加藤大喜、酒井佑太、中西優介、福井克法

自己紹介

チーム名：**魅惑の徳島エクスペローラー**

所属名：**西日本電信電話株式会社**



主査
エン 京

主な役割：提案アイデアの検討・具体化

社内の全社的なDXを推進のための基盤構築に従事。前職ではデザイン思考を用いた新規ビジネスアイデア創出支援にも従事。



主査
加藤 大喜

主な役割：地理データの可視化・チラシデザイン

データ分析、GISのプロフェッショナルとして顧客のデータ活用を支援。数多くのデータ活用プロジェクトの従事経験あり。



スペシャリスト
酒井 佑太

主な役割：全体リード、提案ストーリーの検討

Tableau公式アンバサダーでもありデータ可視化のプロフェッショナルとして顧客のデータ活用を支援。



担当課長
中西 優介

主な役割：徳島の強みを生かす分析・アイデア出し

社内の全社的なDXを推進。BIツール、DWH、クラウドなどに精通。Tableau公式アンバサダーとしても活躍。**徳島県出身。**



主査
福井 克法

主な役割：徳島の課題分析、周辺事例調査

お客様のデータ活用をデータの蓄積から可視化、機械学習までトータルに支援。

目次

- ・ **背景**
- ・ **課題**
- ・ **解決の方向性**
- ・ **政策アイデア**
- ・ **効果試算**
- ・ **施策の展開方法**
- ・ **まとめ**

背景：徳島はとても魅力的な観光地である

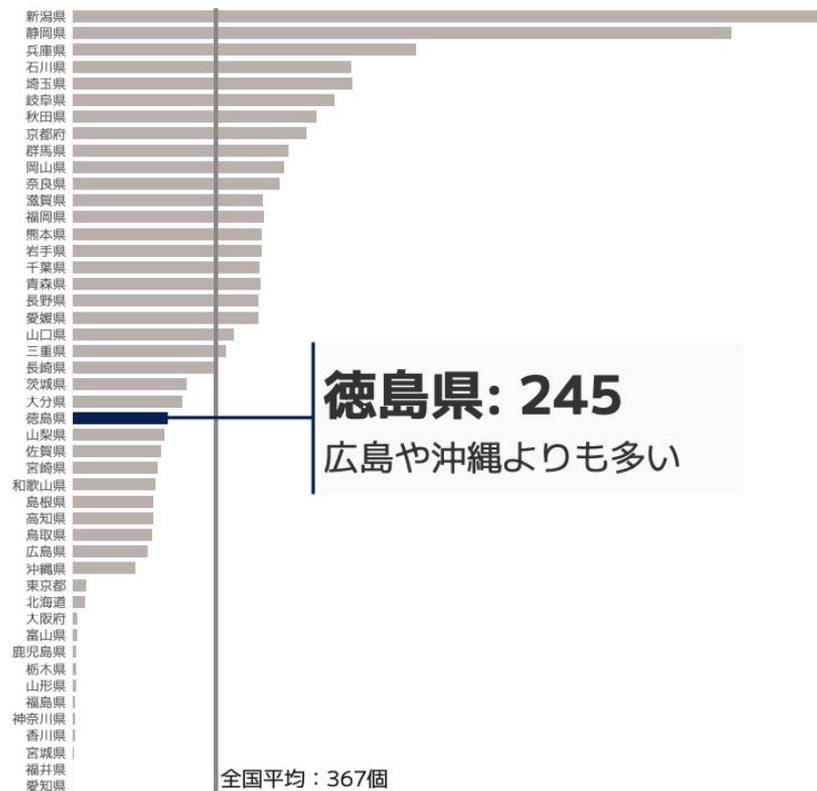
魅力的な観光資源がたくさんあります
阿波踊り、豊かな自然、藍染 etc...

観光地の数で見ても
他の都道府県に引けを取りません



【出典】阿波ナビ「とくしまフォトギャラリー」

都道府県別観光資源数

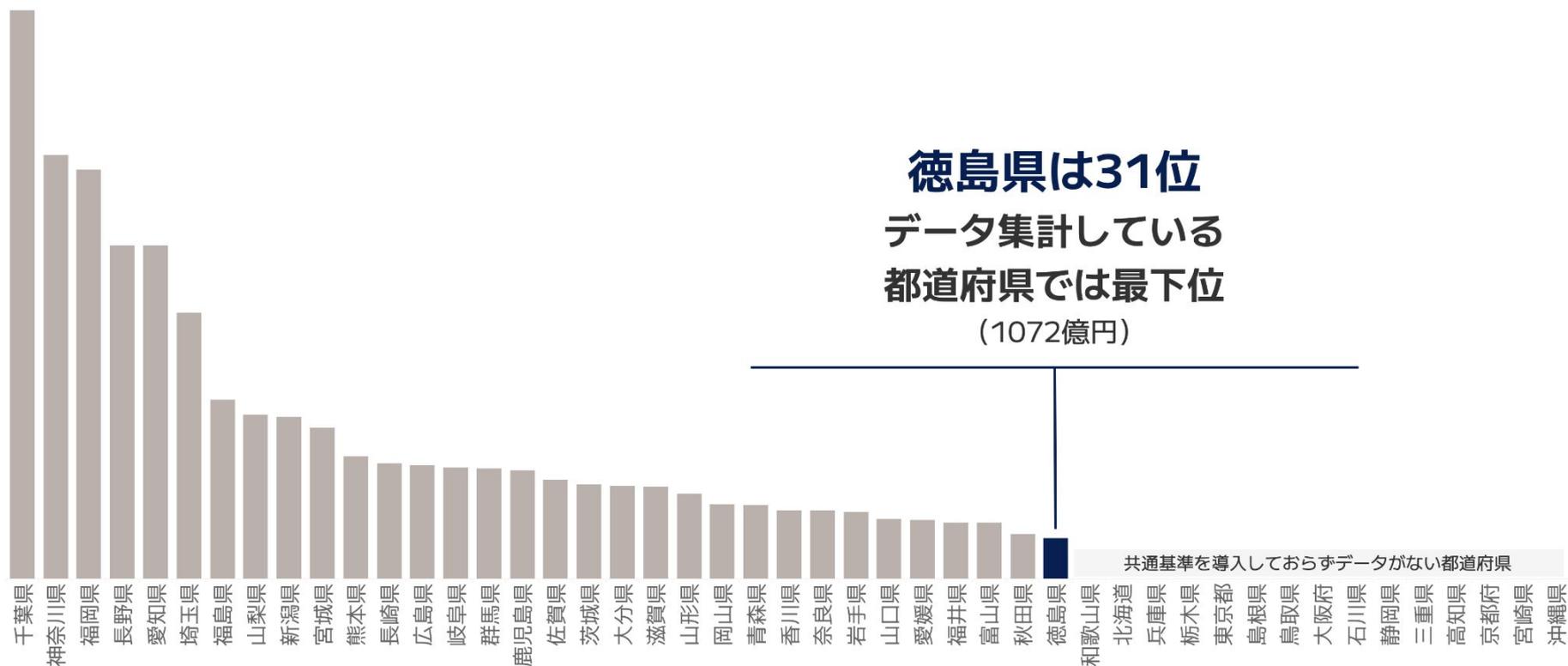


【出典】国土交通省「国土数値情報（観光資源）」

背景：しかし観光消費額は全国最下位

- 徳島県の観光消費額を見ると全国最下位(共通基準導入都道府県において)
- 豊富な観光資源を最大限活用できている状態とはいえません

2019年における観光消費額ランキング

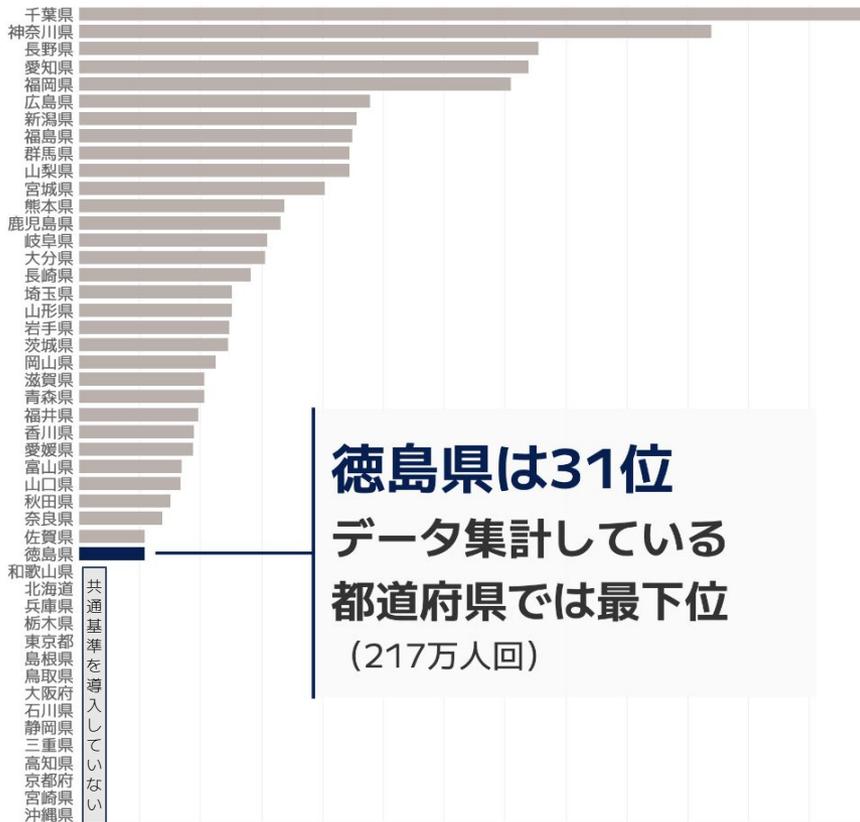


【出典】観光庁「共通基準による観光入込者統計」2019年（観光目的・ビジネス目的・訪日外国人全てを含む）

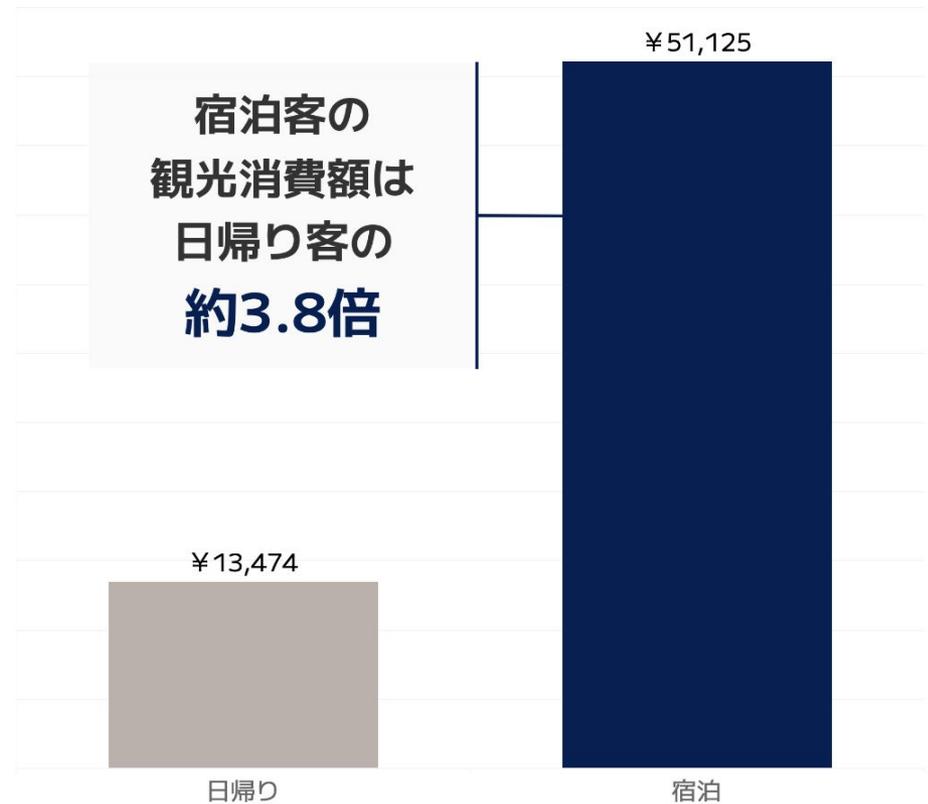
背景：宿泊客が少ないことが大きな問題

- 特に徳島県の宿泊者数ランクは全国最下位です
- 観光消費額が日帰り客の約3.8倍である宿泊客が少ないことは大きな課題です

宿泊者数ランキング



一人当たり観光消費額



【出典】観光庁「共通基準による観光入込客統計」2019年
(観光目的・ビジネス目的・訪日外国人全てを含む)

【出典】観光庁「共通基準による観光入込客統計」2019年
(観光目的・ビジネス目的両方を含む県外来訪者の数値)

課題：なぜ宿泊者が少ないのか？（1/3）

- 交通網の発達による**ストロー現象***の影響が考えられます
- 明石海峡大橋、瀬戸大橋により関西、中国地方の主要都市からのアクセスが良く、徳島の主要スポットは**日帰りで十分に楽しむことができます**

徳島県への主な交通経路



©OpenStreetMap contributors / CC BY-SA

*ストロー現象とは

交通網の整備によって、都市が経路上の大都市の経済圏に取り込まれ、ヒト・モノ・カネがより求心力のある大都市に吸い取られる現象
地方都市の発展の起爆剤になることもあるが、衰退の要因となることもある

各都市からの移動時間

自動車による移動時間

GoogleMapより算出

大阪市 ⇔ 徳島市
約2時間

神戸市 ⇔ 徳島市
約1.5時間

岡山市 ⇔ 徳島市
約2時間

広島市 ⇔ 徳島市
約3.5時間

日帰り旅行の片道にかかる平均時間は2.4時間
(往復4.8時間)

【出典】

株式会社リクルート「じゃらん日帰り旅行に関する調査」 2022/3

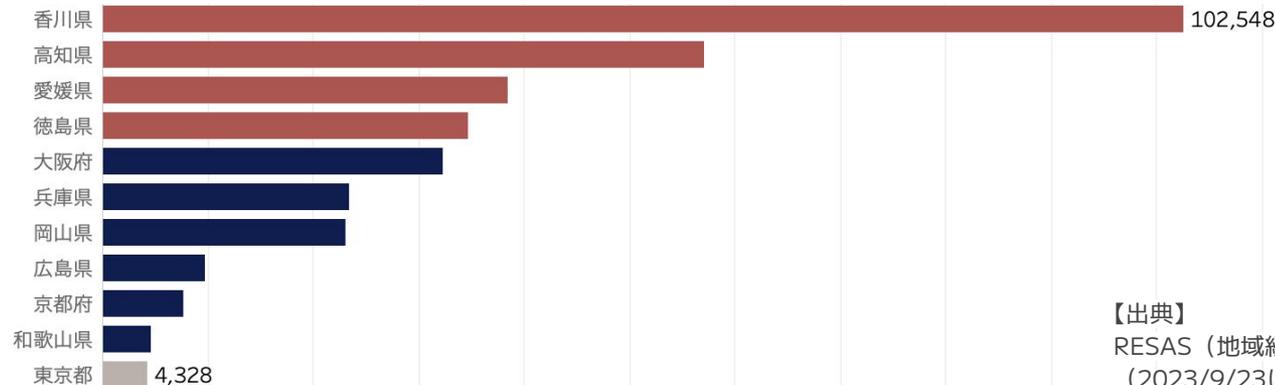
課題：なぜ宿泊者が少ないのか？（2/3）

- 実際に徳島県への移動前後の滞在地は**関西、中国地方**が多く、多くの旅行者が他都市で宿泊していると考えられます

徳島県に移動する前に滞在した都道府県と人数



徳島県から移動した後に滞在した都道府県と人数



【出典】
RESAS（地域経済分析システム）「外国人移動相関分析」
（2023/9/23に利用）を加工して作成

課題：なぜ宿泊者が少ないのか？（3/3）

- 徳島県の観光スポットは県内に広く点在しており、多くの観光地を回るには多くの日数が必要なため、日帰りが多い傾向があると考えられます



徳島県内には山間部を除いて観光資源が広く点在しており観光には多くの日数が必要

徳島県東部に存在する有名観光スポット（大塚国際美術館や阿波踊り会館など）を短い日程で旅行する場合はストロー現象の影響で大都市圏に宿泊者が流れてしまう

解決の方向性：ワーケーション促進

- ワーケーションの滞在日数は観光旅行よりも長く観光消費向上が見込めます
- また徳島県はワーケーションに適した強みを持っています

ワーケーションを促進すべき理由

長期滞在を前提とするため通常の観光旅行に比べ
点在する観光地を回りやすく観光消費増加が見込める

ワーケーションの滞在日数

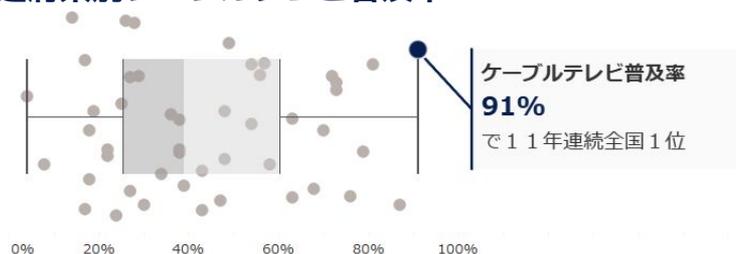
個人 ▶ 3.4日 団体 ▶ 2.9日 観光旅行 ▶ 2.7日

【出典】パーソル総合研究所「ワーケーションに関する定量調査」2023年

ワーケーションに関する徳島の強み

ワーケーションにおける重要インフラである
ケーブルテレビ(ブロードバンド)普及率全国1位

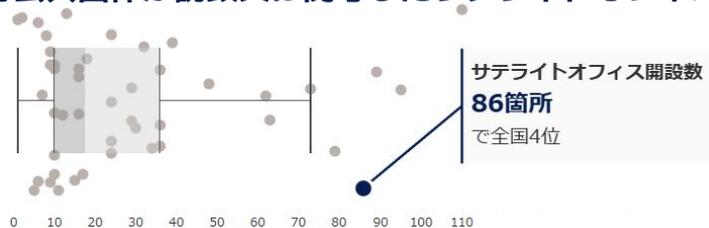
都道府県別ケーブルテレビ普及率



【出典】総務省「ケーブルテレビの現状」2022年

サテライトオフィスも他府県より充実しており
宿泊施設のワーケーション対応が未完了でも
組み合わせてワーケーションプランを構築可能

地方公共団体が誘致又は関与したサテライトオフィス開設数



【出典】総務省「地方公共団体が誘致又は関与したサテライトオフィスの開設状況調査」2022年

✈️ 徳島一周ワーケーション



魅惑の徳島ツアー

海も山も、仕事も全部

- ・働き方に合わせてツアーをカスタマイズ
- ・電車やバス、レンタカーを組み合わせて観光地を巡る
- ・ご家族・カップル・お一人でも楽しめる



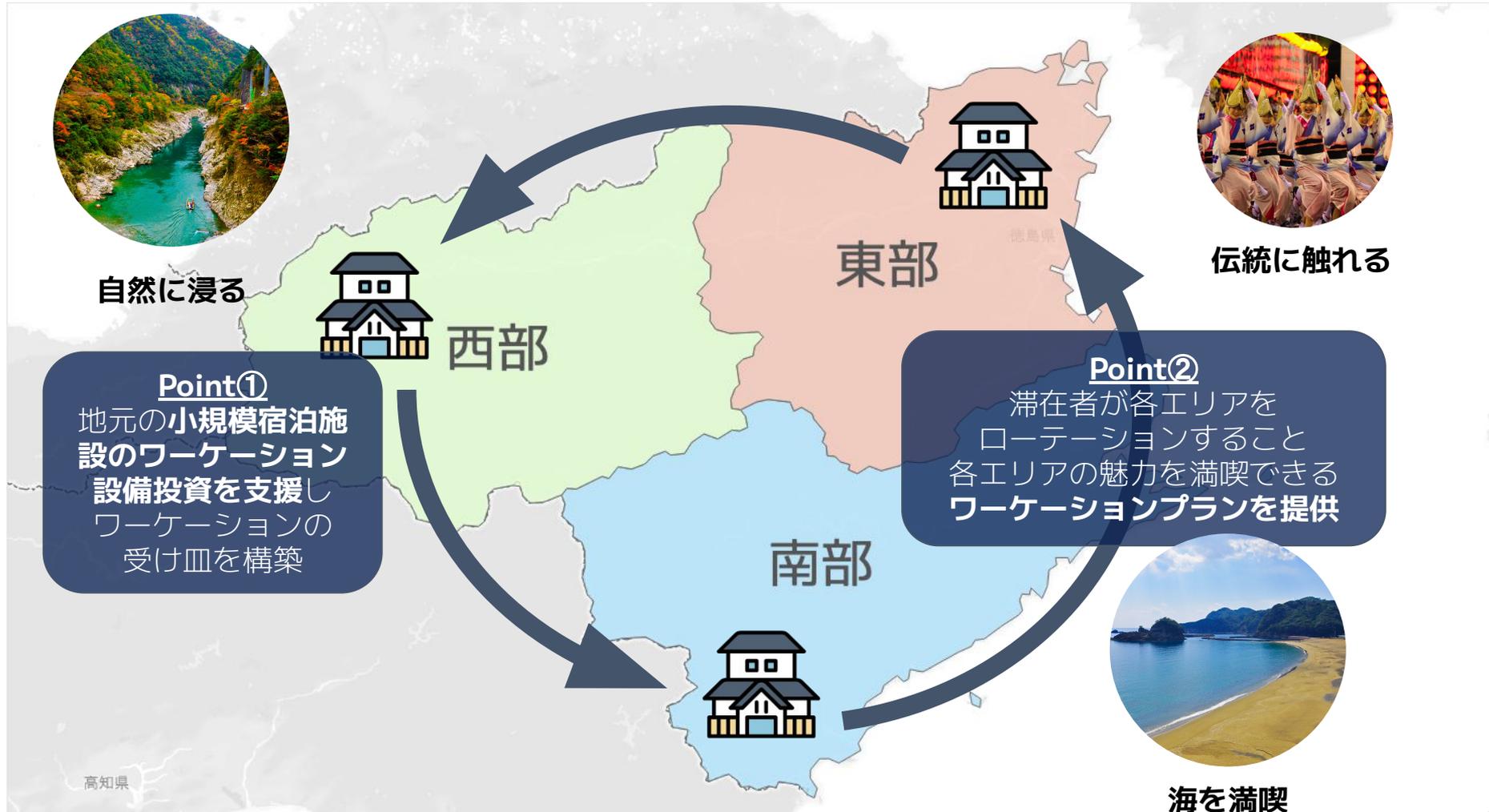
地方創生☆政策アイデアコンテスト2023

魅惑の徳島エクスペローラー

エン京、加藤 大喜、酒井 佑太、中西 優介、福井 克法

政策アイデア：徳島一周ワーケーション

- ワーケーション施設を充実させると共に滞在者を西部、東部、南部をローテーションさせるプランを提供し多くのワーケーション利用者呼び込みます



政策アイデア：取り組みの詳細

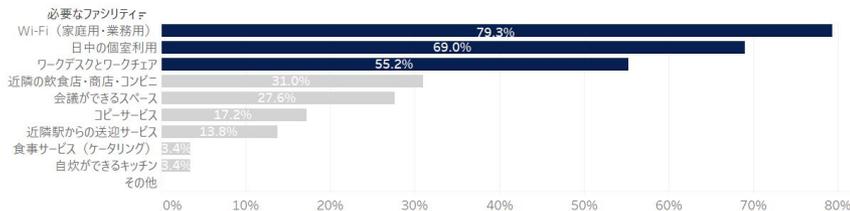
- ワークーション設備の整備は、補助金を活用することを想定しています
- 東・西・南の観光地や宿泊施設を結ぶバスを運行し周遊を促進します

Point①

ワークーション設備投資補助金

徳島県に点在する地域の宿泊施設にワークーションに必要なと思われるファシリティを整備

ワークーションに必要なファシリティアンケートの結果



● Wi-Fi

徳島県においてCATVの世帯普及率は92%で、11年連続一位を獲得しており、整備が容易

● 個室

旅館の部屋を活用するため、整備が容易

● ワークデスクとワークチェア

ワークーション設備投資補助金を活用し、加盟施設にて一括購入を行う

【出典】

JTB「ワークーション施設に必要な設備とは？企業の需要に応える地域の施策」
<https://www.jtbbwt.com/government/trend/detail/id=1680>

Point②

宿泊施設×観光地を結ぶバスを運航

徳島県内における公共交通が少なく宿泊施設や観光施設へのアクセスが悪いためワークーションをしている**滞在者の観光地への移動に課題**がある。滞在者のエリアごと分布や希望の観光先を事前に把握し**確実な需要が見込めれば、観光バスの運行も計画的に実現**できる。

そこで、**計画的な観光バスの運航や各地域のデマンド型乗合交通との連携**し、滞在者が便利に移動できる環境を提供する。

ゆくゆくは、徳島県 県土整備部が掲げる「次世代地域公共交通ビジョン」達成の手段の一つとして、**ワークーションによる需要を地域公共交通ネットワークに還元**し地域活性化に繋げることも可能だと考えます。

【出典】

徳島県「徳島県における地域公共交通に関する取組」
<https://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/content/000272320.pdf>

政策アイデア：関係者のメリット

- ワーケーションを軸に宿泊と観光を効果的に提供することで、滞在者、宿泊施設、バス会社、徳島県の全てにメリットがあると考えます

徳島一周ワーケーションの関係者におけるメリット

滞在者のメリット



- Deepな徳島を満喫できる
- 好きなエリアに長く滞在するなどカスタマイズ自由
- 一カ所に留まらず少しずつ移動するので、気持ちも心機一転し持続的なワークライフバランスの充実
- アクセスの心配がない

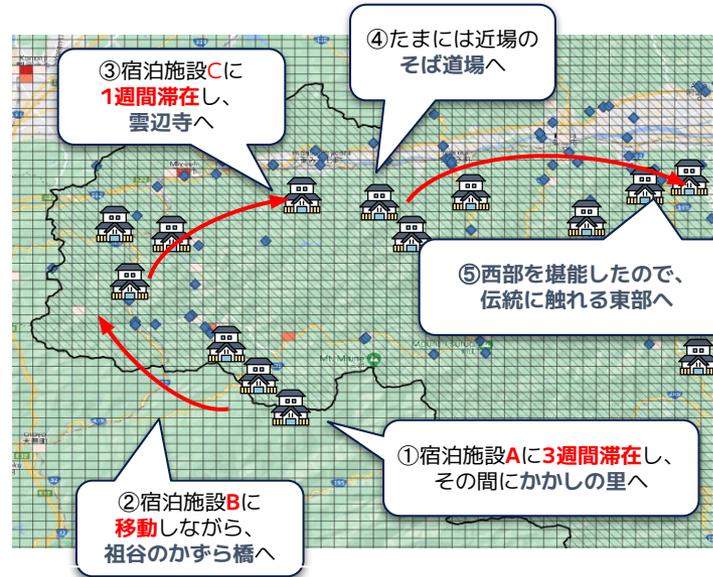
宿泊施設のメリット



- 定期的な中長期滞在者による収入固定化
- リピーター獲得機会の増加



サービス利用イメージ例
西部の自然に浸りながら
のびのびと働くプラン



【出典】国土交通省「国土数値情報（宿泊容量メッシュ、行政区画データ）」

バス会社のメリット



- オンデマンドな計画的運航により新たな需要を取り込み
- 観光施設と連動施策による付加価値提供

徳島県のメリット



- 観光消費額増加
- 滞在者の増加による周辺地域の活性化

効果試算

- 本施策により5年で650億円規模の観光消費額向上が期待できます

前提条件

- ・ 徳島県の旅館・ホテルの客室数(※1)の2割にあたる**2,000室2,000人**のワーケーション受け入れ容量を整備すると想定
- ・ ワーケーション設備の投資額は1部屋あたり**10万円**と仮置き
(テーブル、椅子、ディスプレイを想定)
- ・ ワーケーション滞在者の**1日あたり観光消費額は35,433円**(※2)と想定
- ・ ワーケーション客室の稼働率は**50%**と仮置き

想定費用

- ・ ワーケーション設備投資費用は**2億円**
(2,000室×10万円=2億円)

想定効果

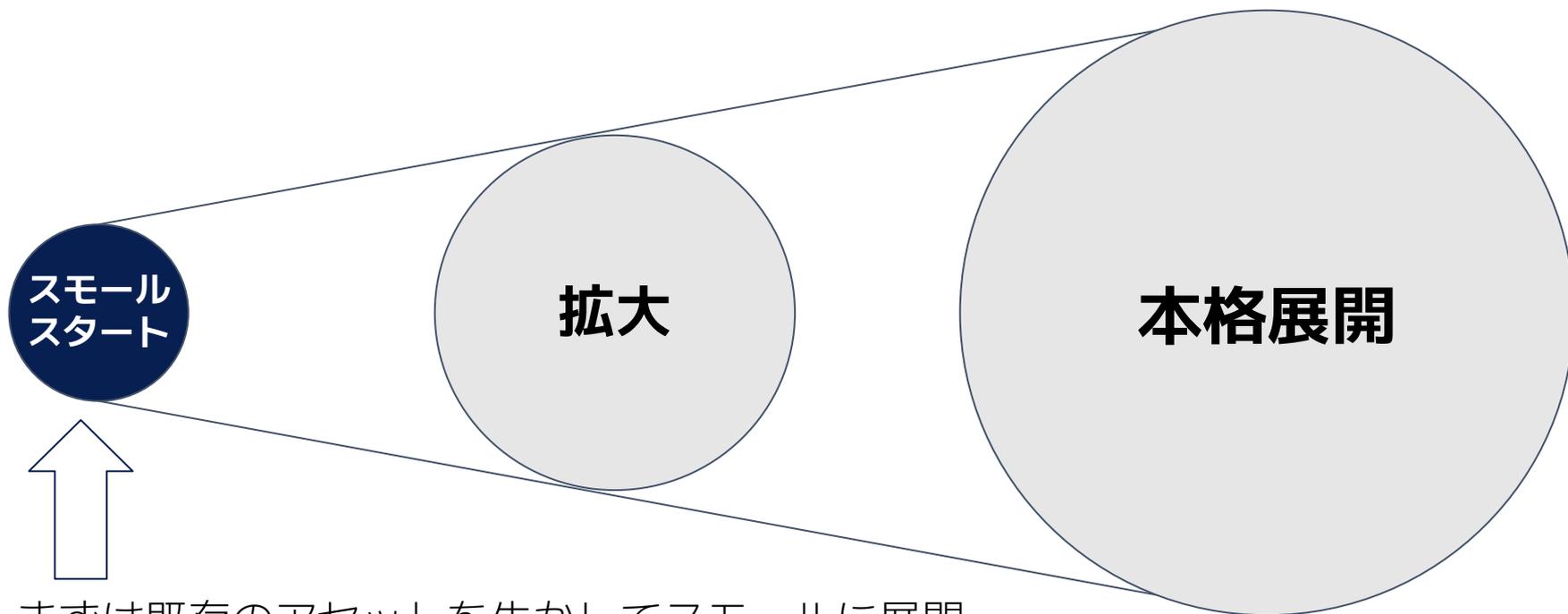
- ・ 観光消費額増加分は**約130億円**
(2,000室×50%×35,433円×365日=約130億円/年)

2億円の補助金で5年間に約**650**億円の観光消費額上昇

※1【出典】厚生労働省「令和3年度 衛生行政報告例 / 令和3年度衛生行政報告例 統計表 年度報」
※2【出典】Kazuya OGATA, Mariko MIYAMOTO「ワーケーションの経済波及効果に関する実証的研究」

施策の展開方法

- いきなり大規模に施策を展開するよりも、まずは**ターゲットを絞り、既存のアセット（政策や設備）を活かして**スモールに開始することが望ましいです
- 次ページ以降、スモールスタートにおけるターゲットや既存設備の活用についてご提案します

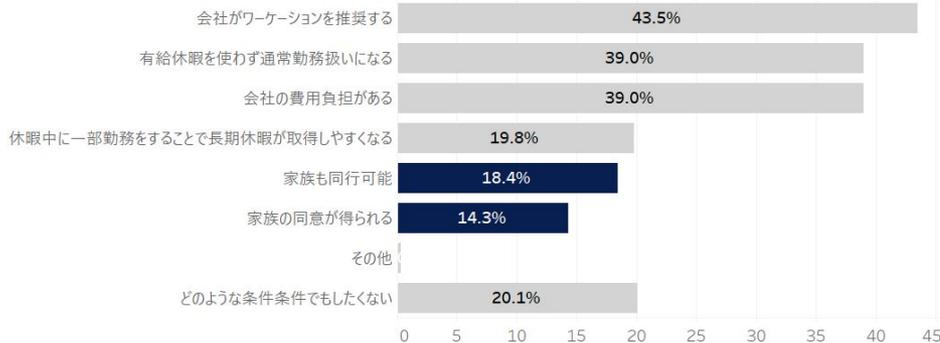


まずは既存のアセットを生かしてスモールに展開
クイックウィン（小さな成功事例）を形成するとともに、
利用者のフィードバックを得ながら計画をブラッシュアップ

施策の展開方法：ターゲットの絞り込み

- ワークেশョンに必要な条件として家族の同行を求める声が多いです
- また親子ワークেশョンへの興味は高くニーズが高いと考えられます

ワークেশョンに必要な条件

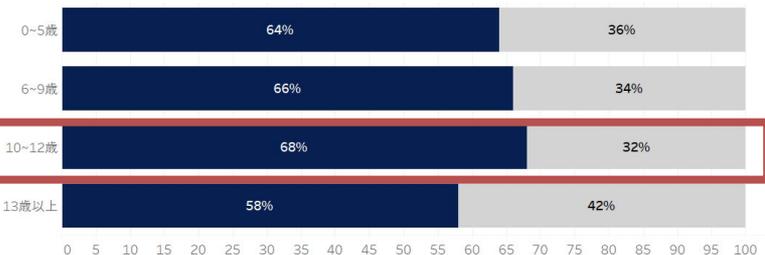


ワークেশョンに必要な条件として企業の制度整備が期待されることと「**家族も同行可能**」、「**家族の同意が得られる**」といった家族に関する事項が必要な条件として挙げられています。

【出典】BIGLOBE「ニューノーマルの働き方に関する調査」
<https://www.biglobe.co.jp/pressroom/info/2020/10/201013-1>

親子ワークেশョンに対する興味

子ども（長子）の年齢別にワークেশョンへの興味 (N=306) ■ 興味あり ■ 興味なし



小学生高学年を長子に持つ家族が最も高い興味度合であることが伺えます。

【出典】いこーよ総研「親子ワークেশョンへの関心」 <https://research.iko-yo.net/report/8554.html>

ターゲットペルソナ



属性情報

- ・ 父40,母38,子ども小5,小2
- ・ 共働き夫婦：正社員+パート・非常勤

- ・ 在宅勤務がデフォルトになり、環境を一新してリフレッシュしたいと考える
- ・ 子どもが小さいうちから自然と触れ合わせてたくさん家族の思い出を作りたい
- ・ 子どもの教育を疎かにしたくない
- ・ ワークেশョンにかけられる費用は抑えたい

施策の展開方法：既存アセットの活用

- 家族でのワーケーションは、子どもの学校問題、居住地、交通手段の3つの大きな壁があり、既存施策を活用することで十分解決できると考えます

子どもの学校はどうする？



デュアルスクール



地方と都市の2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる新しい学校のかたち

- ✓ 住民票の異動の必要がない
- ✓ 双方の学校での授業日数が出席扱い
- ✓ 2016年度より実施しており、実績多数である

【参照】
デュアルスクール
<https://dualschool.jp/>

住む場所はどうする？



移住お試し住宅



県内の空き家やすぐ住めるように生活設備やWi-Fi環境が整っている家を多数用意

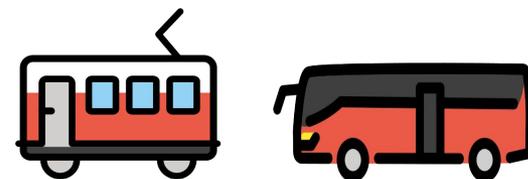
- ✓ 1軒まるごとレンタル
- ✓ 1泊から気軽に利用できる
(400円/日～、1.5万/月～)

【参照】
とくしま移住ハンドブック
<https://iju.pref.tokushima.lg.jp/wp-content/uploads/2023/11/5e96981edf43b83268f85ec6bb17d91c.pdf>

移動はどうする？



交通機関



県内の既存公共交通機関を活用して移住お試し住宅への移動を行う

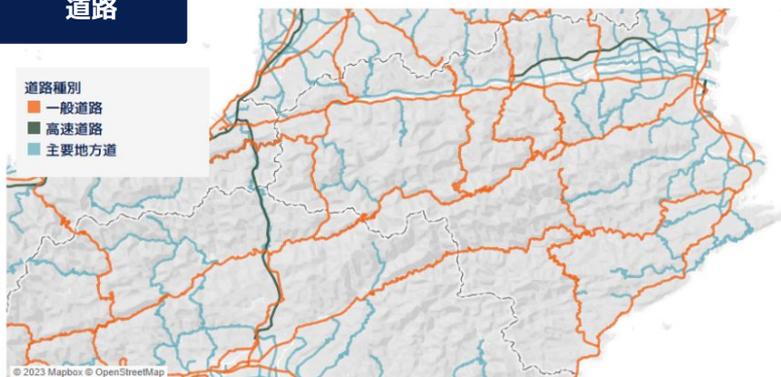
- ✓ 既存アセットのため今すぐに活用できる
- ✓ 公共交通機関なので安価に移動できる

施策の展開方法：移動方法の実現性

- 公共交通機関（バス・鉄道）でもワーケーション中の移動は十分に可能です
- ペルソナを絞り、移住お試し住宅と組み合わせることで、費用を抑えた効果検証が可能と考えています

主要交通機関と移住お試し住宅のマッピング

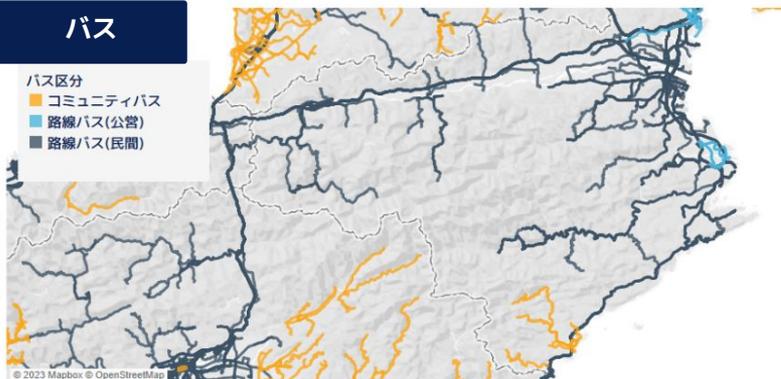
道路



鉄道



バス



交通手段と移住お試し住宅



【出典】国土交通省「国土数値情報（道路データ、バスルートデータ、鉄道データ）」
<https://nlftp.mlit.go.jp/>

先行事例との比較

- 過去に徳島県で実施された施策は短期間（3日程度）が対象でした
- 1週間以上の施策を用意することで新たな需要を喚起できると考えます

地域 / 期間	短期(2-6日)	中長期(1週間以上)
徳島県内	<p>四国周遊型ワーケーション推進協議会 モニターツアー (2021年)</p> <p>アワーケーション共創プログラム (2021年)</p>	
	<p>【本施策】徳島一周ワーケーション 短期～1ヶ月のプランを準備</p>	
徳島県外 先進事例	<p>北海道型ワーケーション 多数モデルプランあり (1週間、一部長期滞在)</p>	
		<p>長野県 信州リゾートテレワーク/お試しナガノ リゾートテレワーク1-7泊、お試しナガノ 最大6ヶ月</p>
		<p>静岡市 お試しテレワーク体験事業 個人 ~4泊、法人向けは1ヶ月以上</p>
	<p>和歌山ワーケーション 多数モデルプランあり (3泊程度) / 企業を誘致 (1ヶ月以上)</p>	

四国周遊ワーケーション推進協議会モニターツアー<https://shikoku-tourism.com/image/resource/DocumentFile/document/74>
 アワーケーション共創プログラム<https://www.pref.tokushima.lg.jp/file/attachment/634913.pdf>
 北海道型ワーケーション<https://hokkaido-work-vacation.com/>
 静岡市お試しテレワーク体験事業<https://shizuoka-seikatsu.jp/information/1520/>
 信州リゾートテレワーク<https://shinshu-resorttelework.com/>
 お試しナガノ<https://otameshinagano.com/>

- 提案内容のブラッシュアップにあたって徳島県移住アドバイザーの小林陽子様
に多数の有益なアドバイスをいただきました。大変ありがとうございました。

小林 陽子 氏

1950年徳島県の南部のまち、海部
郡日和佐町(現美波町)生まれ。

関西へ進学し、結婚後、実家の新聞
販売店を継ぐために家族でUターン。

その後ボランティアで移住支援を開
始。以来40年にわたって移住に携わ
り、総務省過疎対策委員を務める。

徳島県出身の作家・僧侶 瀬戸内寂
聴氏と交流あり。愛弟子としてテレビ
など多数出演。



夢の舞台、徳島で織りなすワーケーション 「徳島一周ワーケーション」

背景：

徳島県には豊かな観光資源があるが生かされてい

課題：

宿泊者数が少ないため観光消費額が低迷している
観光地の点在、ストローク減少が壁になっている

解決の方向性：

ワーケーション施設の充実
滞在者向けローテーションプランの提供

効果試算：

2億円の補助金で**5年約650億円**の観光消費額上昇

施策の展開方法：

既存アセットを活用して**スモールスタート**から徐々に拡大

ご清聴いただきありがとうございました！